

産地パワーアップ事業の取組事例 28～29年度:計画作成主体:県北地域果樹産地協議会(長崎県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(かんきつ)(産地面積:408.5ha)
 主な取組主体 : ながさき西海農業協同組合、
 ながさき西海農協かんきつ部会連絡協議会
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 基準(H26年度)28.8億円
 目標(R1年度)32.2億円



導入施設等:

整備事業 (集出荷施設、選果プラットフォーム式、ハイフリットセンサー式(糖酸、水腐れセンサー、カラーグレーダ))
 生産支援事業 (機械リース(スピードスプレーヤー9台、肥料散布機6台、ウッドチップパー10台、乗用草刈機1台、高所作業車10台)、マルチ被覆資材37.42ha)

ポイント

【産地の課題及び取組み方向】

「西海みかん」ブランド「味っ子」「味まる」は、指定園制度のもとブランド力を強化することで消費地から高い評価を受けており、更なるブランドみかんの出荷量増加が求められている。担い手の規模拡大意向は強いが、農地の流動化、省力機械の導入等を推進するとともに、ブランドみかんの市場への安定供給により高単価販売を実現し、かんきつ産地として販売額の10%以上の増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 外観・内部品質に加え、水腐れなど腐敗果を判別するセンサー等を搭載した高性能選果機整備
- ② 経営の大規模化を図るための省力機械導入
- ③ みかんのブランド率向上に向けたマルチ被覆資材導入

産地体制

地域の関係者(ながさき西海農業協同組合、管内関係市町、長崎県県北振興局)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・園地情報システムを活用した指定園制度の取組により、全園地がシートマルチ栽培を実施し、摘果等の生産管理においても農業者、関係機関が一体となって推進し、実施確認を行っている。栽培管理の統一、徹底により高品質果実の生産を図っている。

〈県・市町単独事業〉

・県単独事業「未来を創る園芸産地支援事業」等も活用し、既存マルチ被覆資材導入園の省力化対策としてマルチ巻上資材導入を支援。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ① 高性能選果機導入による腐敗果の判別、除去精度の向上。
- ② 機械リース、マルチ被覆資材導入支援による初期投資の節減。

【事業実施による間接効果】

- ① 腐敗果減少により市場から産地への信頼が高まり、高単価販売を実現。
- ② 1戸あたりの規模拡大がすすみ、産地規模も拡大。

基準年(H26年度) 328戸 408.5ha(1.25ha)
 目標年(R1年度) 298戸 420.0ha(1.41ha)

